

NEXCO西日本 関西地区防災講演会 報告

～ CVV監事の南荘淳氏が講演 ～（2025年5月26日開催）

- ▶ NEXCO西日本関西支社では、毎年、防災エキスパート関西支部との共催で防災講演会を開催しています。
- ▶ 今年は阪神淡路大震災から30年の記念の年に当たることから、地震防災に関する豊富な経験・知識を有するCVV（シビル・ベテランズ&ボランティアズ）も企画に参加させていただき、
阪神高速道路公団OBでCVV監事の南荘氏が、講演者の一人として講演を行いました。

1. 開催概要

- ▶ 開催日時 : 2025年5月26日 (月) 14:30~17:30
- ▶ 開催場所 : 茨木市 市民総合センター (クリエイトセンター)
- ▶ 主催 : NEXCO西日本関西支社
(公財) 高速道路調査会防災エキスパート関西支部
- ▶ 参加者 : NEXCO西日本本社・関西支社・事務所・グループ会社
防災エキスパートメンバー (総数約300名)
- ▶ CVV関係 : 講演者 (南荘)、聴講者 (夏秋、祝、高田、大西、吉岡)

2. 全体プログラム

- ▶ 開会挨拶 西日本高速道路（株）関西支社長 安達 雅人
- ▶ 講演 1 「異常気象リスクに対する取組み」
（株）ウエザーニューズ 吉永 創
- ▶ 講演 2 「兵庫県南部地震を改めて振り返る
～ 阪神高速湾岸線の復旧工事から得たもの～」
CVV 南荘 淳
- ▶ 講演 3 「安全・安心・安定のための危機管理
～ DX加速化社会での多様性と複雑性～」
立命館大学 教授 井ノ口宗成
- ▶ 閉会挨拶 防災エキスパート 関西支部長 真 伸行

3. 南荘氏の講演内容

- ▶ 兵庫県南部地震当時の阪神高速道路における経験をもとに、以下の内容で講演を行いました。
 - (1) 兵庫県南部地震の概要
 - (2) 阪神高速道路の被災状況と復旧工事
 - (3) 阪神高速5号湾岸線基礎構造物の震害調査と道路橋示方書改定への反映
 - (4) その後の震災と今改めて思う事
 - (5) 震災体験を次世代につなぐ
- ▶ 質疑応答
 - Q:「どのようなことを考えて復旧に当たられたか？」との質問に対し、
 - A:「安全かつ一刻も早い復旧を目指したほか、余震による二次災害を起こさないことや国道43号線事業者である国、自治体、地元住民との連携・協調に意を用いて復旧に当たった。」との応答がありました。

4. CVV参加者の感想

- ▶ 防災に関しさまざまな観点からの講演があって興味深かった。
- ▶ 若手の参加者も多く、女性からの質問もあって新鮮に感じた。
- ▶ 阪神高速道路の被災に関する南荘さんの講演では短い動画も紹介され、被害の全体像と大きさが改めて認識された。また、「想定外を想定しておくことが大切」等の大災害からの教訓が印象に残った。
- ▶ 基礎杭の損傷についての調査は勉強になった。地震による地盤内構造物の損傷を非破壊で調査することは今後も増えてくる気がする。
- ▶ 事業継続計画は策定するだけでなく、年1回は見直し実践訓練しておくことが大切である。また、どのような地震レベルを基準として設計しているのか、東南海地震などによりどうなるのかを国民に周知する必要があると思った。
- ▶ NEXCO幹部の方々がCVVの活動に大きな関心を示されていた。CVVの技術伝承活動への期待が大きいと感じた。

▶ 講演会の状況

(写真提供：防災エキスパート関西支部)



講演中の南荘淳氏